

大学院医歯学合同セミナー

杉村 竜一 博士

HHMI/Children's Hospital Boston
Harvard Medical School

講演「造血幹細胞ニッチ」

血液を供給するのに欠かせない造血幹細胞は骨髄の特殊な環境（ニッチ）において維持されている。近年、さまざまなニッチ細胞とシグナル分子が発見されてきた。長年に渡り、骨芽細胞ニッチと血管性ニッチをめぐる論争が続いてきたが、Morrison 研究室をはじめとするニッチ特異的 Cre を用いたアプローチにより、血管性ニッチを支持する証拠が集まっており、骨芽細胞ニッチは事実上否定されている。演者は骨芽細胞ニッチを提唱したラボにおいて、各種ニッチ細胞と Wnt シグナルの研究に従事し、non-canonical Wnt シグナルが骨髄において造血幹細胞を維持していることを報告した (Sugimura, 2012. Cell)。しかし、現状において non-canonical Wnt シグナルを供給しているニッチ細胞は同定されていない。

本講演では造血幹細胞ニッチ研究を俯瞰するとともに、骨芽細胞ニッチとは何だったのかを振り返り、ニッチの本態とは何なのか、そして今後どのような研究がおこなわれるのかを議論したい。

日時：平成 26 年 10 月 14 日（火）18 時～19 時

会場：医学研究科中研究棟 5 階、5-1 共通セミナー室（札幌市北区北15西7）

問い合わせ E-mail: hidehisa@med.hokudai.ac.jp（高橋 秀尚）

satomari@med.kobe-u.ac.jp（佐藤 真理）

主催：北海道大学大学院医学研究科 生化学講座 医化学分野

主催：北海道大学大学院歯学研究科 口腔先端融合科学分野

共催：日本生化学会北海道支部

共催：北海道大学創成研究機構 研究人材育成推進室（L-Station）